

新 1 年次用

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
現代の国語	必修	2	1	全日制普通科単位制

科目の概要	実社会で必要とされる論理的思考力、相互に交流する力、情報の妥当性や信頼性を吟味する仕方といった言語能力の育成に主眼をおき、他の教科・科目等の学習の基盤、とりわけ言語活動の充実に資する国語の資質・能力を育成する。			
教材名	教科書	「改訂版 現代の国語」（数研出版）		
	副教材	「四訂版 入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500」（いいずな書店）※ 3 年間使用 「新訂総合国語便覧」（第一学習社） ※ 3 年間使用 「小論文テーマ対応 要約練習20」（第一学習社）※ 2 年間使用 「進研WINSTEP現代文 1」（Learn-S）		
担当者		大友 宏之・若林 直人		
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり身に付ける。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。【知識・技能】 （２）「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めることができるようになる。【思考力・判断力・表現力等】 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】		
学習方法		（１）主体的に授業に参加し、様々な言語活動を行う中で、知識・技能を身に付ける。 （２）「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の３領域を関連させ、思考力・判断力、表現力等を高める。 （３）学習の見通しをもつことや学習の過程を振り返ることによって主体的な取り組み方を学ぶ。		
評価基準と評価規準ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	考查・漢字テスト（年４回）	考查・要約（読むこと）、ワークシート・実技テスト等（話すこと・聞くこと、書くことを単元ごとに評価する）	リフレクションシート 取組状況の観察等（それぞれ単元ごとに評価する）
	A	下記Bの項目について規準を大きく上回っている	下記Bの項目について規準を大きく上回っている	下記Bの項目について規準を大きく上回っている
	B	実社会に必要な国語の知識や技能が概ね身につけている	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めることが概ねできている	学習目標達成に向けて、①主体的に粘り強く取り組むこと、②取組の中で自らの学習を調整することのうち少なくともどちらか一方が概ねできている
	C	上記Bの項目について努力を要する	上記Bの項目について努力を要する	上記Bの項目について努力を要する

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等 (○ 扱う教材)	時数	備考(テスト・講習等)
4	☆1・情報を聞き取る ・親しさ等に配慮した表現の理解 ・情報の収集及び整理・伝達	○ 聞くトレーニング※便覧も参照する ・[知識・技能]:(1)イ ・「A話すこと・聞くこと」:ア	1	※学習内容・目標等に 記載している記号は 学習指導要領が示す 内容の番号等
	☆2・読みを深める1 ・語感を磨き、語彙を豊かにする ・文章を読み比べ考えを深める	○「コミュニケーション能力とは何か」 ・[知識・技能]:(1)エ ・「C読むこと」:イ	3	
5	☆3・根拠を明らかにして書く ・主張と論拠などの関係の理解 ・根拠の示し方を考え表現を工夫	○「羅生門」 ・[知識・技能]:(2)ア ・「B書くこと」:ウ	5	
	☆4・対比する ・主な常用漢字を文章中で用いる ・効果的な組立・接続を理解する ・論理展開等を考え構成を工夫	○「水の東西」 ・[知識・技能]:(1)ウ (1)オ ・「B書くこと」:イ	4	「言語文化」の教科書 本文を使用
6	【学習の振り返り】	考查の実施 ・C読むこと及び関連知識・技能中心 【初見の本文からも出題】	※	
	☆5・問題を提起する ・効果的な組立・接続を理解する ・読書の意義等について理解する ・根拠の示し方などを工夫する	○「感情暴走社会の由来」文章トレーニング1・2※便覧も参照する ・[知識・技能]:(1)オ (3)ア ・「B書くこと」:ウ	7	
7	☆6・読みを深める2 ・情報の妥当性等の吟味の仕方 ・情報を関連付け、考えを深める	○「ポスト・プライバシー」 ・[知識・技能]:(2)エ ・「C読むこと」:イ	3	前期中間考查 漢字テスト① ※要約練習20を使用 する。 要約添削(1回目) 進研総合学力テスト (6月末実施)
8	☆7・反論を述べる ・主張と論拠などの関係の理解 ・反論を予想し論理展開を考える	○「未来をはじめる」 ・[知識・技能]:(2)ア ・「A話すこと・聞くこと」:イ	3	漢字学習・要約練習を 夏休み中の課題とする
9	【学習の振り返り】	考查の実施 ・C読むこと及び関連知識・技能中心 【初見の本文からも出題】	※	前期期末考查 漢字テスト② ※話すトレーニング及 び便覧を参照する
	☆8・複数資料を読み比べ発表する ・引用や出典の示し方と必要性 ・理解を得るための資料等の工夫 ・論理展開・表現方法等の評価	○実用の文章1・プレゼンテーション ・[知識・技能]:(2)オ ・「A話すこと・聞くこと」:ウ エ	4	
10	☆9・読みを深める3 ・語感を磨き、語彙を豊かにする ・情報を関連付け、考えを深める	○「政治的思考」 ・[知識・技能]:(1)エ ・「C読むこと」:イ	3	
	☆10・コミュニケーションの手段を考 える ・個別の情報と一般化された情報 との関係を理解する ・話し合い目的等に応じた結論の出 し方を工夫する	○実用の文章4 「非言語コミュニケーション」 ・[知識・技能]:(2)イ ・「A話すこと・聞くこと」:オ	3	要約添削(2回目) 全統高1模試

新 1 年次用

11	☆11・比較・類推・論証 ・言葉の働きを理解する ・推論の仕方を理解し使用する ・情報の妥当性等を吟味した上で、伝えたいことを明確にする 【学習の振り返り】	○「ものごとば」 文章トレーニング 3・4 ・[知識・技能]：(1)ア (2)ウ ・「B書くこと」：ア	7	※要約練習 20 を使用する
	☆12・文章の構成を工夫する【企画書】 ・語感を磨き、語彙を豊かにする ・論理展開等を考え構成を工夫	○文章の構成を工夫して提案する（企画書） ・[知識・技能]：(1)エ ・「B書くこと」：イ	3	漢字テスト③ ※ 後期中間考査
12	☆13・読みを深める 4 ・主張と論拠などの関係の理解 ・文章構成を捉え要点を把握する 【学習の振り返り】	○「浪費を妨げる社会」 ・[知識・技能]：(2)ア ・「C読むこと」：ア	3	要約添削（3 回目）
	☆14・意見文を推敲する ・直接的／婉曲的な述べ方 ・読書の意義等について理解する ・読み手の助言を踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直す 【学習の振り返り】	○「時間と自由の関係について」 文章トレーニング 5 ・[知識・技能]：(1)カ (3)ア ・「B書くこと」：エ (引用の仕方についても確認する)	5	※要約練習 20 を使用する 要約添削（4 回目）
2	☆15・建設的な議論の仕方について考える ・話し言葉の特徴を踏まえ、適切さや敬意に配慮した表現について理解し使う ・話合いの目的等に応じた結論の出し方を工夫する	○集団討議（合意形成）※便覧も参照 ・[知識・技能]：(1)イ ・「A話すこと・聞くこと」：オ	5	※要約練習 20 を使用する
	☆16・短いスピーチをする ・親しさ等に配慮した表現の理解 ・情報の収集及び整理・伝達 ※【学習の振り返り】	○話すトレーニング ・[知識・技能]：(1)ア ・「A話すこと・聞くこと」：ア	4	駿台総合学力テスト 漢字テスト④ ※ 後期期末考査
※ 考 査 後		年 5 回の考査等（C 読むこと 7 時間相当）	7	駿台総合学力テスト C B T

「A話すこと・聞くこと」…… 20 時間
「B書くこと」…… 31 時間
「C読むこと」…… 19 時間
計 70 時間